

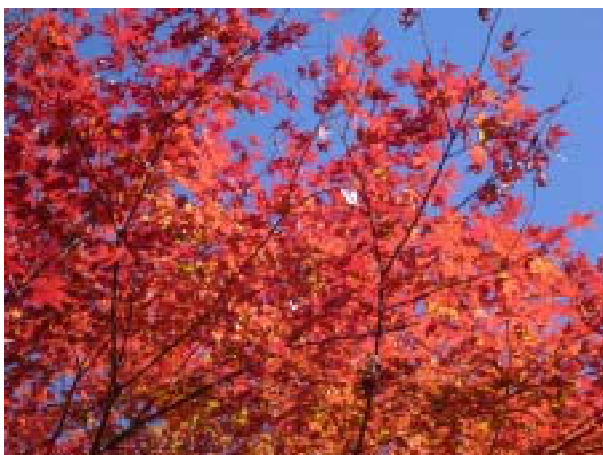
紅く染まる山

秋は夏から冬への季節の変わり目です。10月上旬はまだ夏の名残もあり、台風が進んでくることもあります。市役所で最も遅い真夏日（最高気温が30を超えた日）は10月12日です。一方、11月になると冬の足音が近づきます。日立市で最も早い初雪は11月15日で、最も早い冬日（最低気温が0未満の日）は11月26日となっています。

どちらとも極端な例ですが、この季節、気温が低くなっていくペースは速くなります。平年値で比べると10月の最高気温は1週間で約1下がり、最低気温も約1.4下がります。最低気温のほう下がるペースが速いため、朝と日中の気温差も大きくなっていきます。

秋は落葉広葉樹が紅葉を迎えます。紅葉は朝と日中の気温の差が大きくなると色鮮やかになるといわれており、11月頃見ごろを迎えます。山沿いの本山や西部支所の観測結果では、市役所の気温と比べて、朝と日中の気温差が大きくなります。そのため、山沿いではより鮮やかな紅葉がみられます。

市役所からみられる山々は、この時期には山肌が紅く染まります。市内の山はさくらの木が多いため、春の花の季節から新緑、深い緑、そして紅と山の色で季節を感じるができます。



今年の秋の気候は

気象庁の長期予報（8月24日発表）により、関東地方の気温は平年並みから高いと予想されています。10月は天気は数日の周期でかわりますが、11月は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平年の値（日立市役所）

項目	10月	11月	12月
平均気温（℃）	16.8	11.9	7.3
降水量（mm）	173.3	78.3	43.3
日照時間（時間）	151.2	157.9	184.7
平均湿度（％）	74	67	59

平年値（1981～2010年の30年間の平均）

【10月から12月の1953年からの極値の記録】

- 最高気温が30以上となった最も遅い日
（真夏日終日）10月12日（2013年、1999年）
- 最低気温が0未満となった最も早い日
（冬日初日）11月26日（1973年）
- 雪が降った最も早い日
11月15日（1970年）

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

生活安全課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso>
行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。